

## (平成29年度) 産業廃棄物税等の収入状況及び用途の状況

### 1 収入状況

平成29年度の産業廃棄物税収入額は、79,215千円と、前年度の76,099千円に比較して、3,116千円、約4.1%増加しました。

また、県外からの産業廃棄物の搬入に係る環境保全協力金収入額は、20,116千円と、前年度の23,817千円に比較して3,701千円、約15.5%増加しました。

これらの収入に、県費充当分及びその他雑収入を加えた財源確保総額は119,503千円となりました。

(1) 産業廃棄物税	79,215千円 (平成29年度収入ベース)
(2) 環境保全協力金	20,116千円 ( 同 上 )
(3) 県費 (一般財源充当金)	20,116千円 ((2)と同額を県が負担)
(4) その他雑収入	56千円 (基金利息等)

**財源確保額 119,503千円**

### 2 用途

(1) 循環型地域社会形成推進事業として、次頁のとおり総額108,946千円を支出しました。

(2) また、次期最終処分場の整備のための産業廃棄物処理施設設置調査事業や廃棄物適正処理監視等推進費など産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用その他適正な処分に係る施策に要する費用に充当するため、環境保全基金を取り崩して38,585千円を支出しました。

(3) 産業廃棄物税の徴収等に係る交付金として1,770千円を支出しました。

(4) 収入額に比較して用途実績が下回ったことから、残余の財源は環境保全基金に積み立て、翌年度以降の事業に充当することとしました。

平成29年度循環型地域社会形成推進事業 実績概要

事業名	実施方法	実績額 (千円)	事業実績の概要
産業・地域ゼロエミッション推進事業	補助	57,007	事業者による廃棄物の排出抑制やリサイクルなどのための技術開発、設備投資、製品製造等の取組みの支援（補助金総額 51,720千円） 【補助実績】 6事業 ・大森クローム工業(株) ・(株)デンソー岩手 ・(株)石のセガワ ・石川ファーム ・カワムラSPFファーム ・農事組合法人野田協業養豚組合
3R自主管理支援事業	県実施	9,102	地域ゼロエミッションコーディネーター3名による事業所の3R推進への自主的な取組の支援と地域循環圏形成に向けた事業所間等のコーディネート
再生資源利用製品認定事業	県実施	763	主に県内で発生する再生資源を利用して県内で製造された優良なリサイクル製品を再生資源利用認定製品として認定し、利用拡大を推進
「もったいないいわて3R運動」推進事業	委託等	7,335	3R推進研修会の開催、エコショップいわて認定制度の実施及び岩手県3R推進キャラクター「エコロル」を活用した「もったいない・いわて3R運動」の実施や普及啓発等
産業廃棄物処理業者育成センター運営費補助	補助	5,000	産業廃棄物処理業者の格付制度等の運営に対する補助【県産業廃棄物協会】
産業適正処理普及・啓発促進事業	委託	10,754	排出事業者説明会開催等の事務委託【県産業廃棄物協会】
産業廃棄物処理状況調査	委託	4,009	産業廃棄物処理等実績の集計・分析
許認可総合システム保守管理	委託	12,552	産業廃棄物処理業許可等業務電算システムの保守管理及び改修
循環型社会形成普及事業	県実施	1,667	ごみ減量化等の研究会の開催、普及・啓発、廃棄物処理対策の検討等
PCB廃棄物処理事業	県実施	757	PCB廃棄物処理に係る広域協議会運営に要する負担金等
合計		108,946	

※ 当該年度の収入を事業支出に充当

平成29年度その他事業 実績概要

事業名	実施方法	実績額 (千円)	事業実績の概要
産業廃棄物処理施設設置調査事業費	県実施	6,592	次期処分場整備に向けた先進地調査、市町村調整、各種調査、住民説明等を実施
環境王国を担う人づくり事業費	県実施	458	企業等による環境学習支援の実施により環境王国を担う若い世代の地球環境問題への理解と環境保全の取組を実施
地球温暖化防止活動推進センター事業	県実施	1,007	地球温暖化防止活動推進センターによる、地球温暖化防止活動を支援する情報発信

事業者向け LED 導入 促進事業	県 実施	2,919	LED 照明の導入に係る費用のを補助
廃棄物適正処理監視 等推進費	県 実施	27,609	・ 産業廃棄物適正処理指導員の配置 ・ スカイパトロール、他県等との合同パトロール
合 計		38,585	

※ 環境保全基金（産廃税積立分）を取り崩して事業支出に充当